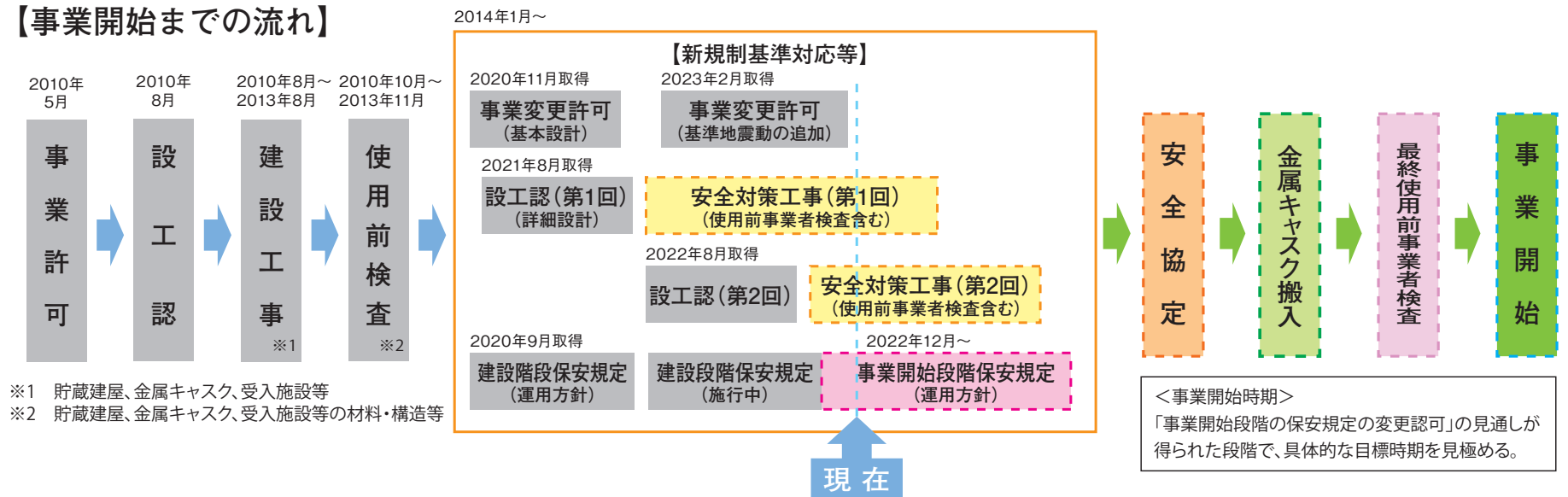


事業開始段階保安規定について

【事業開始までの流れ】



保安規定とは？・・・施設を安全に運用するためのルールを定めたもので、昨年12月に申請し、現在、審査中です。

2020年4月の新検査制度導入に関する原子炉等規制法及び関連規則の改正後は、建設段階（2020年9月16日認可）と、事業開始段階の二段階で保安規定を定めることになりました。

2022年12月21日に事業開始段階の保安規定変更認可を申請し、現在、審査中です。今回の申請においては、「事業許可」、「設計及び工事の計画の認可（設工認）」で確認された使用済燃料貯蔵施設の安全性を、貯蔵期間中に亘って継続して確保するために必要な事項を定めます。

【今回申請（追加）した主な事項】

- ・貯蔵管理（施設の巡視点検、火災発生時や津波等の自然災害発生時の体制の整備、異常時の措置など）
- ・放射線管理（管理区域の設定、放射線の測定や線量管理など）
- ・緊急時措置（原子力防災組織や資機材、態勢の発令、原子力防災訓練など）

すでに第一線で活躍を始めた新入社員!その仕事ぶりを紹介します。

新入社員のコメント

- ①どのような仕事を行っているのか?
 - ②入社前後で会社に対する印象は変わったか?
 - ③1年を振り返り今後の抱負
- 先輩社員からのメッセージ
- ①成長したところ
 - ②今後期待するところ、頑張ってもらいたい点

経理グループ



山本さん

山路さん

新入社員:山本さんのコメント

- ①「出納業務」「金融機関対応」等
- ②地域との交流をととても大切にする会社だと改めて感じました。
- ③1年間恵まれた環境で仕事ができ、働くことの楽しさを感じることができました。2年目はコツコツと経験を積み、何事にも冷静に、真剣に取り組みたいです。

先輩社員:山路さんからのメッセージ

- ①一つ一つの仕事を着実に進めています。
- ②主体性・積極性を持って取り組んでほしいです。

新入社員:運上さんのコメント

- ①資機材の管理、予算の策定を行っています。他には週に一回現場を巡回し、装置等の異常の有無を点検しています。
- ②仕事のイメージから難解であり、戦力となれるか不安がありました。しかし、実際には想像と違い、落ち着いた雰囲気、上司の方々は親しみやすく、働きがいのある会社だと感じました。
- ③仕事の途中で、疑問点を放置せず聞く勇気を持ち、知識向上のため、個人で調べる習慣づけが大事だと思いました。更に、2年目として新入社員の手本となるよう、スキルアップを図りたいと思います。

先輩社員:山本さんからのメッセージ

- ①入社当時と比べると、いろいろなことを積極的に聞くようになってきています。
- ②設備を覚えるため、機会を見つけ現場へ行くように伝えており、最近現場へ行く機会が増えたと感じます。積極的に現場へ行き、コミュニケーション能力を身に着けつつ、設備を覚えてもらいたいです。(来年度からは工事監理も行うため)

保全グループ



山本さん

運上さん

総務グループ



北田さん

木嶋さん

新入社員:木嶋さんのコメント

- ①「出張等旅費審査」「勤務表管理・審査(休暇取得)」「給与支給処理」「消防設備等の自主点検」等
- ②堅いイメージがありましたが、職場は明るい雰囲気何でも相談することができる環境で安心しました。
- ③意見を積極的に発信することを遠慮していましたが、今後、与えられた業務に対して意欲的に取り組み、自身の見識も加えて情報を発信できるようにしたいと思います。「報連相」を怠らないために、伝えるべき内容・タイミングをおさえ、密にコミュニケーションを図ってきたいと思います。

先輩社員:北田さんからのメッセージ

- ①当初不安そうだった電話対応が、今ではスムーズにできるようになり成長を感じています。期限を切った業務依頼に粘り強く交渉を行い、業務を完璧させるところに感じました。
- ②業務改善はフレッシュな視点で行うことがとても重要だと思います。業務を依頼されることも増えてきましたが、固定観念に捉われず自らの意見を発信し、わからないことは遠慮なく聞いて、焦らず一緒に取り組みましょう。

新入社員:北上さんのコメント

- ①「電気設備の点検」「設備を設置するための書類作成」等
- ②すぐに事業開始ができと思っていたのですが、国の厳しい審査をクリアしなくてはならないことを知り、大変であると実感しました。
- ③今年は、知識を身につけるために勉強した1年でした。今後もたくさんの知識を身につけられるよう勉強を継続しながら、工事監理員としてひとり立ちし、会社の役に立てよう頑張っていきたいです。

先輩社員:乳井さんからのメッセージ

- ①資料作成に伴い、必要な情報を取捨選択し、段取りを決めて計画的に進めることができているため、機械、設備と図面を照合し、運用までの工程をしっかりと説明できよう、期待しています。

保全グループ



乳井さん

北上さん

Q.原子力防災訓練はどのくらいのペースでやっているの?

A. 原子力防災訓練は2か月に1回程度、消防訓練は年1回実施。災害に関する防災体制の確立と防災技術の向上を図るとともに、防災意識の高揚に資することを目的として全社員一丸となって取り組んでいます。

【防災訓練の様子】



【消防訓練の様子】



毎回違うシナリオ
に沿って訓練が
行われるんだね!

いんなみ

【印南防災安全グループマネージャー】



リサイクル燃料備蓄センター(使用済燃料中間貯蔵施設)は、重大な原子力災害が想定される施設ではない(放射性物質漏えいの可能性は極めて小さい)とされていますが、原子力防災業務計画に基づき、自然災害等を想定した訓練を実施しています。

緊張感をもって
取り組むことが
大切なんだね!



QRコードを使って当社広報紙(REN)等へのアンケートをお願いします。

応募締め切り3月31日

アンケートにお答えいただいた方より抽選で10名さまに、数ある下北ジオパーク認定商品の中から「みなみや こんぶや店」の「下北ジオ昆布三昧」をプレゼントします。

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



認定商品には、ブランドを示す専用のロゴマークが使用されています。下北ジオパークだからこそ生まれた商品をぜひ一度お試しください。

津軽海峡の恵みが育てたマコブ

津軽海峡には豊富な栄養塩を含む親潮が流れ込んでおり、マコブが生育するには持ってこいの海域。そんな好環境で育った下北産マコブを使用して製造した、出し昆布、おぼろ昆布、とろろ昆布の詰め合わせです。

イベント情報

菜の花フェスティバルinよこはま 開催決定!

本イベントにつきまして、2023年5月20日(土)・21日(日)に開催されることが決定しました!

イベント内容は、菜の花大迷路をはじめ、菜の花マラソン大会やステージショー等も予定されています。その会場に、「RFS」として地域のみなさまからご意見を頂くためのコミュニケーションブースを出店予定!!

お子さまが楽しんでいただけるようなアミューズメントもご用意しますので、是非ご来場ください。

